

ここにいま

平成28年度西朝明中学校
学校通信 第6号
平成28年10月4日

だいさんがくねん せいと ぜんこくがくりよくがくしゅうじょうきょうちょうさ と く
第3学年の生徒は「全国学力学習状況調査」に取り組みました。第1学年・第2学年の生
シアーアルティ もんぶかがくしょう ぜんこくいつせい じっし
徒たちは、CRTに取り組みました。全国学力学習状況調査は、文部科学省が全国一斉に実施す
るもので、三重県ではほぼ100%の学校で実施しています。CRTは市町の教委ごとに実施す
るかどうかを決めているはずで、ぎょうしゃ さくせい ひょうじゅんがくりよくけんさ
業者の作成した標準学力検査です。ちなみに、
C Criterion → 基準
R Referenced → 参照
T Test → テスト
やく もくひょうきじゅんじゅんきょけんさ しめ
という訳になりますが、目標基準準拠検査と示されています。

こくご りょういき なか でんとうてき げんごぶんか こくご とくしつ つよ はな て いと かんが
国語(1年) 4領域の中で、「伝統的な言語文化と国語の特質」は強く、「話し手の意図を考
き かんじ おぼ ただ つか けっか いっぽう
て聞くこと」や「漢字を覚えて正しく使うこと」に強いという結果でした。一方、国語へ
かんしん いよく たいど ぶんみやく そ か じぶん かいとう おうようりよく よわ
の関心・意欲・態度と文脈に沿って書くなどの自分で考えて解答する応用力が弱いとい
くふう せいり ちゅうい よ しじご せつぞくご ないよう
う結果でした。また、工夫して書くや整理して書く、注意して読むや指示語・接続語の内容
りかい ことば かた ちしき と くせん むかいとうりつ ひく
の理解など、言葉の使い方の知識を問われて苦戦していたようです。無回答率が低いこと
こうはん ねば づよ と し
から、後半まで粘り強く解いたことがうかがい知れます。

ぜんこくへいきん たか ぜんりょういき い
国語(2年) 国語への関心・意欲・態度は全国平均より高く、全領域において強みと言えます。
おも ぶんみやくじょう いみ はんそう
書く能力はやや弱いと思われ、「文脈上の意味理解」はほぼ半数で無回答でした。このこ
ぜんもんかいとう じかんてき むずか み しりょうしゅうしゅう せんたく
とから、全問解答には時間的に難しいのではないかと見てとれます。「資料収集・選択」
かだい き せつめいてき なに
「課題を決め、整理して書くこと」と「説明的な文章を読むこと」がやや弱く、自分で何
こうどう うつ ぶんがくてき
かを決めて行動に移す力が弱いと考えられます。一方、「文学的な文章を読むこと」は強
けいこう
いという傾向でした。

すうがく ぜんはん くら こうはん たしょうふ ていねい
数学 前半と比べて後半になるにつれて無回答が多少増えるのは、丁寧に問題を読んでいたりと、
てまど じかんぎ
解答をマークするのに手間取って時間切れになったからではないかと思われます。

きそ
1年・2年とも、おおむね学習の基礎が身についていると考えられます。2年生ではC
かんてん おお けっか
の観点が低く、BやAが多いことが、この結果をもたらしていると考えられます。

(1年) 数量や図形などについての知識・理解の観点のAの割合がやや低く、Cの割合が高いという結果でした。「分数計算」はやや強いですが、「約数・倍数」ではやや弱かったです。数学への関心・意欲・態度が1年生より2年生で上昇していて、問題の形式に対する慣れも関わっていると考えられます。

(2年) 「点と直線の距離」「回転移動」に関する問題で間違えた生徒が多かったため、「平面図形」でやや弱いという結果でした。ただ、計算をはじめとして、最後まで取り組もうとする生徒が多いと感じられます。

英語(2年) 全体としてはおおむね学習の基礎が身についていると言えますが、「聞くこと」の技能と「語や文を正確に聞き取る」力がやや弱いと言えます。また、選択問題では見られなかった無回答や誤答が英作文を書く問題では目立ちました。

問題はきちんと解答していますが、英語学習への関心や外国のことについて学ぶ活動、言語や文化についての知識・理解が弱かったです。外国人との、コミュニケーションのツールとしてではなく、受験科目として捉えてしまっているのではないかと危惧します。

今後の取り組みとしては、学年別ではなく前号で紹介したような方法を学校全体で行っていきたいと考えております。まずは、食生活からきちんとした生活習慣を確立させて、勉学に向かえる状況を大事にすることが大切です。その上で、難解な問題に挑戦するだけではなく、基礎基本を着実に定着させてあげることが必要で、生徒一人ひとりが基本を重要視する姿勢で取り組んでほしいと願っています。

生徒会役員選挙が行われ、後期の執行委員が選ばれました。前期の執行委員の皆さんは、例年通りという内容だけでなく、自分たちの発想で企画・立案・実行という貴重なプランを提案してくれました。清掃ボランティアや熊本地震への支援活動がそれに当たります。この、自分たちの発想で活動してくれたことに拍手を送りたいと思います。また、後期の執行委員にも期待をしたいと思います。さあ、明日からの中間テストに向けて、今からでも学習に集中してテストに備えてください。きっと努力しただけの満足感は得られるはずです。